

# 居住観の誘導

——中国・技術集成型住宅(仮名)

中国建築設計研究院  
国家住宅与居住环境工程技术研究中心  
刘燕輝  
2006、10、24

## これまでの経緯

2004年第一回中日建築・住宅会議(東京)

『中国の住宅“診断”』

「居住観」の誘導

「日本技術高度集成型住宅」

以来、中日双方で積極的効果的な努力を行った

## 中国の住宅は変わりつつあり 住宅も中国を変えつつある

- わずか20年で中国の住宅は劇的に変化した  
（「神話」に近い変化）
- 「居住観」の変化を誘発した
- 「居住観の誘導」という課題を誘発した
- 「住宅品質を高める」考察を誘発した

## モデルプロジェクト

- 『中国都市型小康住宅研究』（JICA）  
「石家庄聯盟団地小康実験住宅」のモデル的役割
- 当時の局限性（理論，概念）
- 現実のフィージビリティ（産業，実践）
- 「日本技術高度集成住宅」から
- 「中国新住宅体系」の確立へ

## 政策

- 中国は人口多く 耕地少く, 資源不足
- 節約型社会, 調和社会
- 「国六条」等
  
- 「面積」を中核とする探求から——
- 「品質」を目標とする実践へ——

## 誘導

- 誘導の役割を宣伝
- 「世論」の影響力を重視
- 理論の刷新を重視
  
- 「住宅への合理的支出」意識を確立する
- 住宅への合理的支出を誘導する
- 「合理的な住宅」の建設——世論による誘導  
——実物による誘導

## 技術の集成

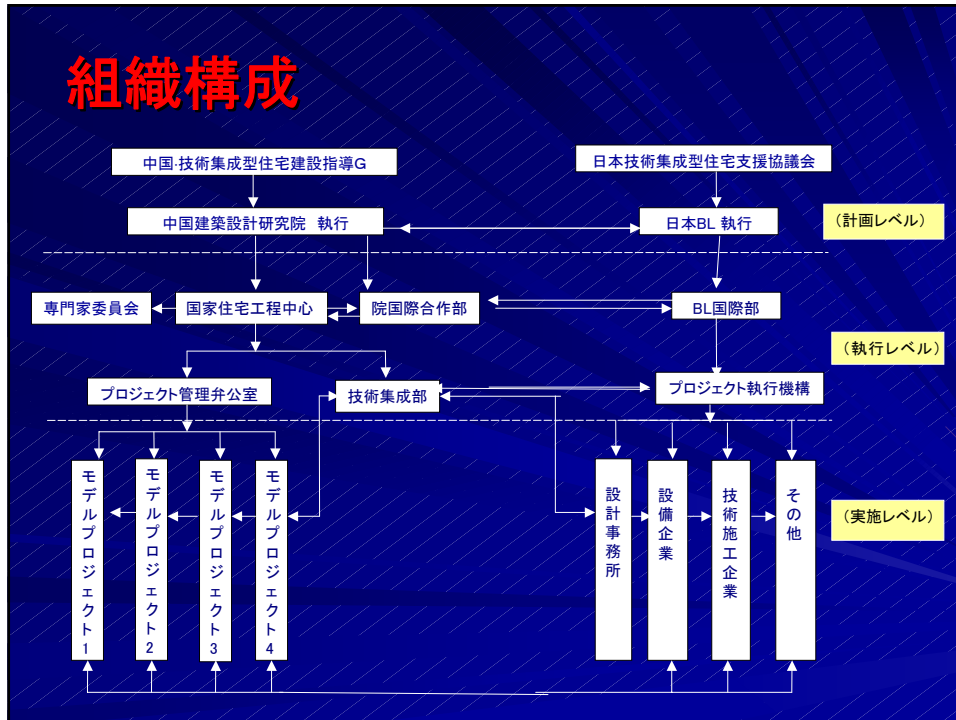
- トータル技術
- 先進技術
- 実用技術

■ 「経内装」から——「精内装」へ

## 実施計画

- 中国・技術集成型住宅(仮名)
- 中日共同作業場(機構)の設立
- 「診断」方式により中核技術の集成を提起
- モデルプロジェクトと内容を確定
- 双方の視察と研究方向
- プロジェクトをキャリアーとして実施

## 組織構成



## 中国側の管理手段

- 『モデル建設作業フロー』(草案)
- 『モデル建設申請表』(草案)
- 『モデル建設暫定管理規則』(草案)
- 『モデル建設検収規則』(要確定)

不適當な部分をご指摘ください

■ **第三回会議に期待**

ありがとうございました